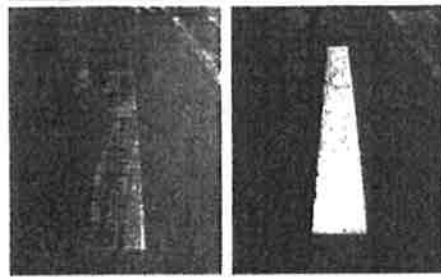


多様な汚れを除去

大林道路 舗装洗浄剤を開発

大林道路は、三洋化成品



区画線への施工前（左）と施工後

（千葉県印西市、高橋修三代表取締役）と共同で、舗装や道路付帯設備の汚れを除去する「洗浄剤キレイザー」を開発した。従来製品と比べ、多様な汚れに対応し、洗浄面を傷めず簡単に洗浄できる。既に販売を始めており、舗装会社や建設会社、リース・レンタル会社、運送会社、民間工場などを対象に年間1000万円の売り上げを目指す。舗装の汚れにはタイヤ痕や

油・オイル痕、サビなどさまざまな種類がある。これまで舗装の汚れに特化した洗浄剤がなかったため、酸やアルカリを含む各種洗浄剤で対応していた。

開発したキレイザーのラインアップには「キレイザーS」と「キレイザーE」を用意した。キレイザーSは油污れやサビ、タイヤ痕など舗装の一般的な汚れに対応する。使用時は3倍に希釈し、ハンドスプレーで汚れに噴霧する。舗装と汚れの間に洗浄剤が浸透し、界面活性剤が汚れを水中に乳化解散させて洗浄するため、ブラシで擦り、布など

で拭き取るだけで汚れを落とせる。

石油成分によるキレイザーEはアスファルト乳剤や機械油污れを除去する。洗浄面に原液を塗布すると、石油成分が脂分を溶解し、界面活性剤が乳化・洗浄する。塗布から数秒後に布などで拭き取ると汚れを洗浄できる。アスファルトフィニッシャーなどの汚れも落とせる。

販売価格（税別）はキレイザーSのスプレー容器（167ミリ）が4500円、4リットル容器が3万円。キレイザーEの4リットル容器が2万円、18リットル容器が3万円。